

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和5年度においては、小中学校や青少年野外活動センターなど次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による小中学校の椅子や机等整備を実施しました。
- また、区役所や交流会館といった市民利用施設において、利用者が身近に木のぬくもりを感じられるよう窓口カウンター、キッズスペースの備品や屋外ウッドデッキの整備を実施しました。

□ 事業内容

信太山青少年野外活動センター木製製品の整備促進事業

・学校園団体、青少年団体、子育て世帯をはじめとする家族連れ等の団体が主に利用する野外活動施設について、明るい木のぬくもりが感じられる国産木材を使用したフローリングにリニューアルし、木の良さを実感する場を増やすとともに、自然と触れ合うことを通じて青少年の健全育成を図った。

【事業費】39,135千円（うち譲与税39,135千円）

【実績】体育館床、ロビー床、食堂床（合計396m²）



□ 事業スキーム

- ・制限付一般競争入札

□ 工夫・留意した点

・信太山青少年野外活動センターでは、森林や自然と触れ合う体験事業を実施している。これまでにも、森林環境譲与税を活用してテーブル・ベンチを導入しており、より木のよさを実感できる場を増やすため、体育館、ロビー、食堂のフローリングのリニューアルを行った。

□ 基礎データ

①令和5年度譲与額：310,620千円	②私有林人工林面積（※1）：0.00ha
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：2,752,412人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より